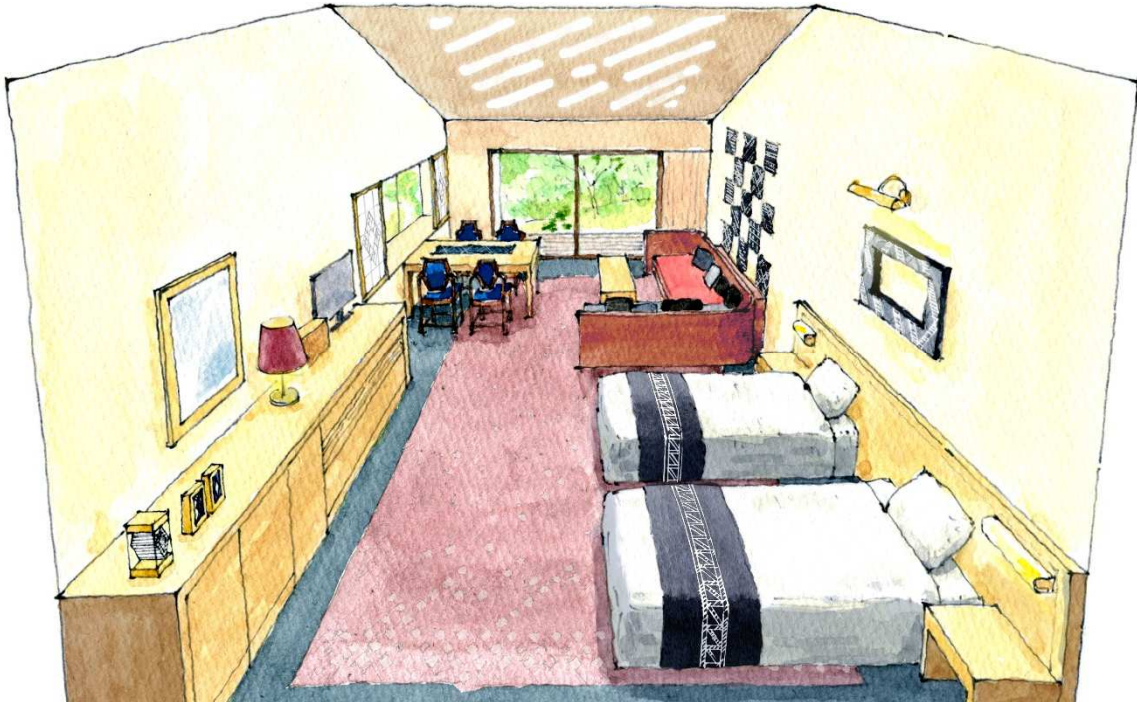


## 星野リゾート 界 津軽 (青森県・大鰐温泉) 津軽の伝統工芸に触れる ご当地部屋「津軽こぎんの間 洋室」2017年4月11日誕生

青森県弘前市の奥座敷、大鰐温泉に位置する温泉旅館「星野リゾート 界 津軽」に、2017年4月11日、洋室をリニューアルした「津軽こぎんの間 洋室」が誕生します。青森の伝統工芸の一つである「津軽こぎん刺し」を随所に取り入れた客室で津軽文化を感じる温泉旅館での滞在を楽しむことができます。

NEW

### 津軽の伝統工芸に触れる「津軽こぎんの間 洋室」



界 津軽では、2013年より青森県出身のkoginデザイナー・山端家昌（やまはたいえまさ）氏とコラボレーションし、伝統工芸「津軽こぎん刺し」を館内に取り入れる「koginプロジェクト」を実施しています。このプロジェクトを通して、「津軽こぎんの間 和室」(全27室)や廊下のごぎん照明や中庭の池にごぎん燈籠が誕生しました。そして今回、2017年4月11日には、6室あった洋室が「津軽こぎんの間 洋室」として生まれ変わって誕生します。津軽こぎんの美しいシンメトリーな模様は、レトロにもモダンにもアレンジでき、洋室にもなじみます。ブラックを基調としたこぎん模様は、ベッドランナーや壁掛け、クッション、テーブルセンターなど、部屋の随所へスタイリッシュにあしらわれています。昔ながらの製法で丁寧に作り上げられたあたたかみのある風合いを、目で見て、手で触れて、津軽こぎん刺しの魅力を存分に感じることができます。

#### 「津軽こぎん刺し」

津軽地方の雪深い冬を温かく過ごすため、また、仕事着の強度を高める工夫として、重ねた麻布に細かな刺し子を施したのが津軽こぎん刺しの発祥とされています。水平・垂直にシンメトリーな菱形が基本的なモチーフとして使われている伝統工芸品です。



NEW

### 光のごぎん模様が投影される「こぎん幻灯」



夜になるとこぎん模様が浮かび上がる「こぎん幻灯」は、今回のリニューアルで新たに施された仕掛けです。天井の壁に投影されるこぎん模様は、星空や流れ星をイメージしており、長い時間眺めていても飽きません。光とこぎん模様が織りなす幻想的な雰囲気を楽しめます。

ご当地部屋「津軽こぎんの間 洋室」 ■室数：6室 ■オープン日：2017年4月11日  
■定員：2名 ■平米数：約50㎡ ■料金：1泊2食付 2名1室 一人あたり 23,000円～（税金・サービス料込）

## koginデザイナー・山端 家昌氏と界 津軽

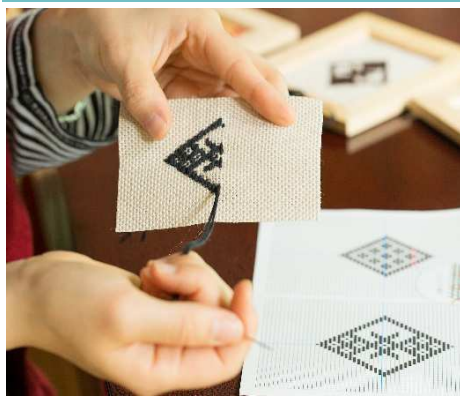


青森県出身のKoginデザイナー・山端 家昌氏は、高校時代に弘前でこぎん刺し模様に出会い、その後、こぎん刺しの魅力を発信すべく「kogin.net」を立ち上げ、作家活動をスタートしました。界 津軽では、津軽こぎん刺しの技法や模様を、客室インテリアとしても展開。伝統模様の魅力をベースに、こぎん模様をデジタル化し、意外性のある素材や色などを駆使したオリジナルのデザインは、津軽こぎん刺しへの興味を引き寄せ、強く印象づけます。



### 館内で触れる津軽こぎん体験&ギャラリー

#### 津軽こぎん刺し体験



美しいシンメトリーの模様がモダンにアレンジできることで、手芸ファンにも人気の「津軽こぎん刺し」。界 津軽ではお部屋で気軽に体験できます。一針一針縫っていくうちに気持ちがなごみます。完成後は、木のフレームに入れて自分だけのオリジナルのお土産として持ち帰りすることができ、ご自宅インテリアとしてもお楽しみいただけます。

■料金：1,700円

#### Koginギャラリー



バックや時計など、こぎん刺しの作品が展示され、新たな魅力が発見できるスペースです。山端氏の監修のもと、季節ごとに開催する企画コーナーでは、津軽にゆかりある作家の個展が開かれます。



### 星野リゾート 界 津軽（青森県・大鰐温泉）

弘前の奥座敷に佇む、津軽文化が光る宿。日本画の巨匠・加山又造の壁画『春秋波濤』の前で披露する津軽三味線は圧巻。八甲田や白神山地、奥入瀬溪流など青森観光にも便利。

- ・住所：〒038-0211 青森県南津軽郡大鰐町大鰐字上牡丹森36-1
- ・TEL：0570-073-011(界予約センター) ・URL：<http://kai-ryokan.jp/tsugaru/>
- ・客室数：全40室 ・料金：1泊2食付 2名1室 1名様あたり 24,000円～

本リリースに関する報道関係からのお問い合わせ先：星野リゾート グループ広報  
TEL：03-5159-6323 FAX：03-6368-6853 E-mail：pr-info@hoshinoresort.com